

総合文化学科

POINT 1



多様な学び

カリキュラムは「世界の多様な文化」「日本の文学と文化」「英語圏の文学と文化」「神話とファンタジー」「映像・演劇・音楽」の5つの柱によって構成されています。これらの領域を横断しながら自分独自の学びを追究できます。

POINT 2



「好きなこと」を「学問」に

例えばアニメでも、旅行でも、自分の好きな対象を追究。それらをどう分析し、何をどう考えれば「学問」になるかを教員が手引きします。学問を身につけることで、どんな仕事にも自信を持つことができるようになります。

POINT 3



広く深い文学の世界へ

小説やエッセイ、詩、和歌・俳句から、戯曲、評論、民話や神話、ロックの歌詞にいたるまで、幅広い文学を掘り下げて思考し、人の文化や世界について理解し、自分自身の探究につなげます。

POINT 4



日本語も外国語も

言語文化や文法についての深い理解に基づいた日本語研究と、英語・中国語・ドイツ語を中心とする実践的な外国語学習が可能。応用的な語学力を養成する「英語研修プログラム」「中国語研修プログラム」も用意しています。

履修スケジュール

(1年次前期の場合)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				運動生理学	英語	
2	演劇と教育	英語	神話学入門	アニメーション表現論	プロゼミ	
3	文化とアイデンティティ	日本語を学ぶ	スポーツ文化	映像文化論	日本の文化と文学	
4	オムニバス「総合文化」			旅と観光文化		
5	映画論					

■ 専門科目 ■ 共通教養科目 ■ 外国語科目 ■ 自由履修科目(講義バイキング)

卒業に必要な単位

(合計124単位以上)

		小計	合計
共通教養科目		20単位	124単位
外国語科目		4単位	
専門科目	プロゼミ	4単位	
	総合文化学科 専門科目※	20単位	
	卒業論文・ 卒業制作	10単位	
自由履修科目(講義バイキング)		66単位	

※学科基礎科目8単位、ゼミナル4単位を含めること

PICK UP



卒業論文・卒業制作報告会の様子



映像研究セミによる撮影風景

1 年次

文化を多角的に考える

プロゼミでは図書・情報館の使い方、文献の読み方、発表方法、レポートの書き方など、大学生としての基本的な力とスキルを身につけ、オムニバス「総合文化」で

プロゼミでは図書・情報館の使い方、文献の読み方、発表方法、レポートの書き方など、大学生としての基本的な力とスキルを身につけ、オムニバス「総合文化」ではさまざまな専門の学科教員たちが、それぞれ1つのテーマのもとに、多角的に講義。教員の多彩な授業内容や持ち味に触れ、幅広く横断的な学びに導きます。

2 年次

自分のテーマを探す

「作詩に挑む」「書道」「ファンタジーの作法」「地域・同時代を撮る」「劇を作る」「編集の現場」など実際に自分で表現し、制作することで技能を習得しながら文化

「作詩に挑む」「書道」「ファンタジーの作法」「地域・同時代を撮る」「劇を作る」「編集の現場」など実際に自分で表現し、制作することで技能を習得しながら文化や表現について考えます。「世界の多様な文化」「日本／英語圏の文化と文学」「神話・ファンタジー」など多彩な専門科目を学び、自分のテーマを探します。

3 年次

ゼミナールでテーマを追究

各自の学問的関心に応じて、大学の醍醐味であるゼミに所属。本格的に専門分野について学び、卒業論文・卒業制作に取り組みます。幅広い分野に興味がある

各自の学問的関心に応じて、大学の醍醐味であるゼミに所属。本格的に専門分野について学び、卒業論文・卒業制作に取り組みます。幅広い分野に興味がある場合には、複数のゼミに所属し、横断的に考えることもできます。フィールドワークにも積極的に取り組み、発見と経験から学ぶ姿勢を身につけます。

4 年次

卒業論文・制作で総仕上げ

大学の学びは、自分で問いを立て思索し表現するもの。
卒業論文・卒業制作では大学での学びの総仕上げ
として、学生が主体的でオリジナルな営みを行い、自

大学の学びは、自分で問いを立て思索し表現するもの。
卒業論文・卒業制作では大学での学びの総仕上げ
として、学生が主体的でオリジナルな営みを行い、自
立して考え表現する人になることをめざします。教員
はそのインストラクターに過ぎません。講義バイキン
グはこのオリジナルな学びのためにあります。

学科専門科目		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
科 必 修	プロゼミ	● プロゼミ(前期・後期開講)							
	学科基礎科目	● オムニバス「総合文化」							
選 択 必 修 科 目	世界の多様な文化	● 中国古典のこぼば ● アジアの芸能 ● アフリカの文化と歴史		● 中国文学との対話 ● ガンダーラ文化史 ● 世界の性文化		● 中国の歴史と文化 ● トルコ諸語とその世界 ● 世界の家族		● 中国芸能の世界 ● ペルシア語とその世界 ● グローバル化時代の文化学	
	日本の文学と文化	● 日本文学序論 ● 作詩に挑む ● 日本語学序論 ● 日本語教育実践研究		● 日本文化の諸相 ● こどもと文学 ● 日本語の文法		● 日本文化に分け入る ● 宗教思想論 ● 日本語の意味		● 近現代の文学 ● 漢文学の世界 ● 日本語の分析 ● 言語表現の現在 ● 歴史資料を読む ● 日本古語を学ぶ	
	英語圏の文学と文化	● 英米文学序論 ● 映像と英文学批評 ● 英語学研究 ● 外国語習得理論		● 英語の古典文芸 ● 英語詩精読 ● 英語の歴史 ● 英語を学ぶ		● 英語圏の文化 ● 英語学序論 ● こぼば・心・社会 ● 音声学		● 中国語コミュニケーション ● フランス語とその世界	
	神話とファンタジー	● ヨーロッパの神話 ● ファンタジーの作法		● ユーラシアの神話 ● 中国のファンタジー		● 神話と儀礼 ● 中国のユートピア文学		● 英語圏の文化 ● 英語学序論 ● こぼば・心・社会 ● 音声学	
	映像・演劇・音楽	● 映画論 ● 戯曲を読む ● 若者文化論		● ドキュメンタリー映画史 ● 中国の映像文化 ● 編集の現場		● 映像と現代社会 ● 日本の芸能 ● ルポルタージュ入門		● サウンドスケープ論 ● 民俗芸能論 ● 地図の文化学	
	ゼミナール	● 『ハリリー・ポッター』における英語進行形の意味と用法 ● アメコミ映画とヒーローの多様性について ● T・S・エリオットを読む ● 村上春樹と新海誠の作家性の比較 ● 『蟲師』人が怪異に引き付けられる理由 ● 映画『プロメア』の世界観 ● ヒルコ神話の研究		● ジェンダーから読み解く莫言文学 ● 神話における蛇と竜とドラゴン ● 遊牧民の社会構造 ● 平安貴族の結婚観 ● 古代の水信仰について ● 本のある空間—図書館構築の可能性 ● 英語学習における苦手意識の形成について ● マンガ・アニメ聖地における聖性		● アジア文化圏における異文化の定着についての考察 ● 中国語を母語とする人々のための日本語教育について ● SNSにおける文末表現について ● ネットスラング分析 ● (制作)夜の女神 ● (制作)心が落ち着く映像づくり		● 英語圏の文化 ● 英語学序論 ● こぼば・心・社会 ● 音声学	
共通教養科目									
外国語科目									